資料第 2-1号

2025 年度における「豊島区環境基本計画 2025-2030」の進捗状況

各指標と評価結果の見方

1. 指標について

豊島区環境基本計画では、「取組指標」と「成果指標」を用いて目標が定められています。
次ページの「2025年度「豊島区環境基本計画2025-2030」指標の評価結果」は、昨年（令和7年度）の取組の＜進捗状況＞及び＜評価・分析＞を表したものです。「取組指標」と「成果指標」に該当する施策については、以下の表によって点検・評価を行います。

表記	進捗状況
	目安値を **10%以上** 上回っている
	目安値との差が **10%未満** （例：0～±9.9）
	目安値を **10%以上** 下回っている

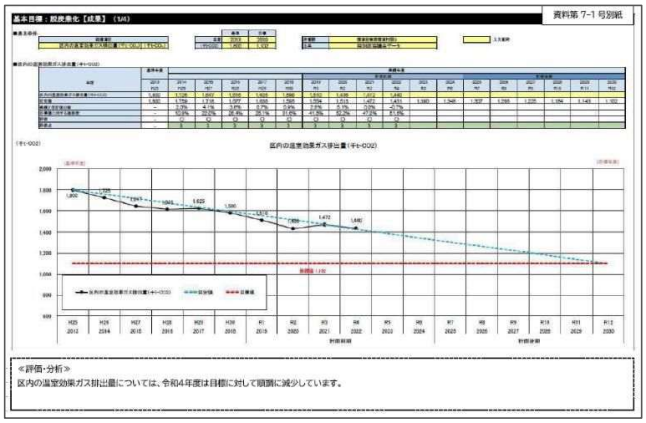
「進捗状況」は、実績が「目安値」に対してどれだけ達成しているかを可視化するため、達成率に応じて3種類の記号（花の絵）で表記をしています。

2.「進捗状況」の計算方法

（実績値－目安値）/目安値×100

3. その他

前期計画（「豊島区環境基本計画2019-2030」）の進捗状況の「別紙」としてこれまでお示ししていた折れ線グラフの資料につきましては、後期計画（「豊島区環境基本計画2025-2030」）の新目標値に見直し、次回の環境審議会（来年）に配布できるよう準備を進めております。



●用語解説
「目安値」・・・当該年度の目標となる値
「実績値」・・・当該年度の実績となる値

2025年度「豊島区環境基本計画2025-2030」指標の評価結果

資料第2-1号

基本目標		指標項目	目安値（2024年度）	実績値（2024年度）	目安値（2025年度）	実績値（2025年度）	進捗状況（評価）	目標値（2030年度）	評価・分析
Ⅰ 地球温暖化対策	取組指標	★家庭への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数（累計）	1,279	1,412	1,584	1,830		3,100	太陽光発電システムの助成件数は128件でした。平成25年度をピークに、国の補助金制度の廃止や再生可能エネルギーの買取価格の低下・買取の停止が影響し件数は減少しましたが、令和5年度に新たに蓄電システムの助成を開始したところ（R7実績145件）、組み合わせて活用するとより効果があるとされている太陽光発電システムの助成件数が大幅に増えたと考えられます。
		★事業所への再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成件数（累計）	90	90	105	106		180	事業者への省エネ対策はコスト削減にもつながるため、事業者にとって必要性は高いと思われます。しかし、中小規模事業者が省エネ機器の導入に投資することは容易ではなく、助成制度は大きな動機になっています。
		★としま低炭素モデル地区基準を満たす地区（累計）	3	3	3	3		4	南池袋二丁目C地区第一種市街地再開発事業地における地域冷暖房熱供給加入に伴い、地域冷暖房の供給導管の新設にかかわる都市計画変更を、令和3年度に行いました。（東京国際大学、東池袋一丁目地区再開発、南池袋二丁目C地区再開発）
		遮熱性舗装の整備済面積（㎡）	45,269	45,482	46,000	46,628		53,500	令和7年度の目安値にほぼ近い値で整備することができました。引き続き、定期的に補修を実施している道路を中心に整備を行ってまいります。
		雨水流出抑制対策済量（㎥）	73,089	63,325	90,000	64,445		132,000	区有施設の整備の際には対策施設を設置し、開発行為の際にも対策施設整備の指導を行ったものの目安値には届きませんでした。区内には大規模な敷地がないため、対策施設を設ける場所が少ないです。
		校庭への熱交換塗料等の使用小学校数（校）	19	19	20	20		20	熱交換塗料の使用により、校庭の温度上昇を抑えることで、児童の熱中症を予防するとともに、学習環境を向上しました。
		高齢者への熱中症予防訪問件数（件/年）	6,000	8,268	6,000	6,315		6,000	訪問件数は目安値を上回ることができました。引き続き、訪問を通じた予防啓発に取り組んでまいります。
		熱中症に関する講座等の参加者数（人）（累計）	186	277	311	475		940	令和7年度は、区内39か所のクーリングシェルター施設管理者、区担当職員を対象者として、熱中症対策アンバサダー講座を実施しました。
	成果指標	★区内の温室効果ガス排出量（千t-CO_2eq）	1,324（2022年度）	1,440（2022年度）	1,271（2023年度）	1,307（2023年度）		900	前年度比9.3%減少、平成25年度比では27%の減少となっています。温室効果ガス排出量の約90%を占めるCO2排出量は119万8千tで、近年は減少傾向が続いています。
		区内のエネルギー消費量（TJ）	12,815（2022年度）	13,435（2022年度）	12,211（2023年度）	13,327（2023年度）		7,985	豊島区のエネルギー消費量は、近年減少傾向が続いており、令和5年度は前年度比0.8%の減少となっています。
		★区内の太陽光発電設置容量（kW）	11,731	9,131	22,189	10,566		32,500	目安値は下回りましたが、助成金によって128件、合計541.3kW の設置が実現し、昨年度実績からの伸び率（15.7%）も人口が同規模の他区の平均値（14.9%）を上回る成果がありました。
		区内の太陽光発電設置件数（件）	1,999	2,038	2,205	2,460		3,239	令和7年4月より東京都では太陽光パネル設置を義務付ける制度が始まりました。本区では、エコ住宅普及促進費用助成金として令和5年度より蓄電池をメニューに追加しています。蓄電池は太陽光とセットで導入する方が多く、設置件数の実績が大きく伸びたものと考えられます。
		熱中症による救急搬送者数（人）	195	168	195	235		減少	令和7年度は7月にピークを迎え、7月だけで95名（うち65歳以上42名）の方が熱中症により救急搬送されています。また、4月23日から10月22日までの間に、東京都熱中症警戒アラートは40回発表されました。東京消防庁管内の過去5年間の搬送者数も右肩上がりの状況が続いています。

基本目標	指標項目		目安値（2024年度）	実績値（2024年度）	目安値（2025年度）	実績値（2025年度）	進捗状況（評価）	目標値（2030年度）	評価・分析
Ⅱ 自然共生	取組指標	★生きもの調査に参加する区民の数（累計）	1,310	1,315	1,425	1,466		2,000	目標値を達成し、引き続き多くの区民の皆さまに参加いただくことが出来ました。令和7年度から、暑さ対策のため調査期間を10月末まで延長し、区立小学校や区立保育園、区内幼稚園への呼びかけを行いました。また、小学校・保育園等、団体の参加も多かったです。
		自然環境に触れる講座等の参加人数（人）（累計）	187	240	277	359		730	自然環境に触れる講座への関心が高く、多くの区民が参加している状況です。
		学校・区立公園のビオトープ数（累計）	19	19	19	19		20	ビオトープは、自然への関心を深める学習や観察の場所としてはもちろん、保護者や地域の方々と子ども達とのコミュニケーションの場となっているため、引き続き学校改築等の機会を活かして設置を進めます。
		緑化計画書の届出件数（件）	72	66	74	61		84	2025年度は緑化計画書の届出を要する対象案件が基準年度と比べ少ない結果となりました。
		公園の整備面積（整備済面積）（ha）（累計）	23.9	23.6	24.1	23.7		25.4	公園再構築計画策定と重なり、1箇所しか改修しなかったため目安値を下回る結果となりました。
		★緑化基準を満たす公共施設割合（%）	82	81	82	81		86	2025年度は変動がありませんでした。
		街路樹の設置割合（設置済割合）（%）	80	79	81	79		87	新植された街路樹で整備された道路が新設されていないので、2023年と同じ結果となりました。
		地域が管理する公園・ビオトープの数（累計）	3	3	3	3		3	池袋の森、目白の森、南長崎はらっぱ公園が地域が管理しているビオトープで変動はありませんでした。
		協定花壇等の活動団体数（累計）	53	56	54	75		68	身近な公園に興味を持った方々によるみどりの協定団体の新規設立及び公園等再構築プランとの連携等が功を奏し、協定団体数が増加しました。
	成果指標	緑被率（%）	13.2	12.7	13.2	12.7		13.3	実績値は令和6年度の緑被現況調査時の値で、建替え等による既存樹木の伐採により樹木被覆地が減少したことによる緑被率の低下と分析しています。
		★みどり率（%）	14.1	13.5	14.2	13.6		14.3	実績値は令和6年度の緑被現況調査時の値で、建替え等による既存樹木の伐採により樹木被覆地が減少したことによるみどり率の低下と分析しています。
		緑視率が25%以上の箇所の割合（%）	21.1	20.6	21.8	20.6		25.2	実績値は令和6年度の緑被現況調査時の値で、接道部分への緑化推進活動により上昇傾向にあります。
		みどりの協定数（累計）	52	56	54	64		64	身近な公園に興味を持った方々によるみどりの協定団体の新規設立が功を奏し、協定団体数が増加しました。
		★「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」と思う区民の割合（%）	12.9	12.9	14.3	11.9		17.4	今後も公園の新設や改修、学校の改築の際には、生きものの生息空間を創出・保全していきます。

基本目標		指標項目	目安値（2024年度）	実績値（2024年度）	目安値（2025年度）	実績値（2025年度）	進捗状況（評価）	目標値（2030年度）	評価・分析
Ⅲ 資源循環	取組指標	ごみ減量に関する出前講座の実施回数（回/年）	11	7	12	15		14	区立小学校15校から実施希望があり、9～11月にかけて実施しました。
		リユース食器を使用するイベント回数（回/年）	10	9	11	9		20	主に地域区民ひろばでの飲食を伴うイベントで使用されました。
		★3Rに関して発信した件数（回/年）	66	78	56	86		66	今後も、ごみの減量や資源の分別をより推進するため、積極的に発信していきます。
		ごみ分別アプリの登録者数（累計）	4,945	7,625	5,788	11,085		10,000	毎月一定数の新規登録者がおり、利用者は増加しました。
		食品ロス削減推進に関する情報発信回数（回/年）	30	34	30	48		30	今後も、食品ロスの削減をより推進するため、積極的に情報を発信していきます。
		区民一人1日あたりのプラスチック回収量（g/人日）	19.2	19.4	20.0	19.4		24.1	今後もプラスチックの分別方法について周知を行っていきます。
		★町会・清掃担当者との意見交換会、 リサイクル・清掃関係施設見学会の開催回数（回/年）	2	2	2	2		2	意見交換会とリサイクル清掃施設の見学会を各1回実施し、町会との連携を深めると共に、資源回収及びリサイクル活動への意欲を増進させることができました。
		連携して活動した民間団体等の数	173	196	175	147		185	集団回収実施団体のほか、3Rに積極的に取り組む民間企業や学校とも連携しました。
		適正分別・適正排出に関して発信した件数（回/年）	52	52	52	126		52	今後も、適正分別・適正排出を周知啓発するため、積極的に発信していきます。
		不法投棄回収件数（件）	3,688	3,393	3,700	3,338		3,550	受付件数を増やしたことにより、粗大ごみの収集待ち日数が減ったこと及び日々の見回りにより目標値以上の効果が現れました。
	成果指標	★一人一日あたり区収集ごみ量（g/人日）	471	451	470	440		463	一人一日あたり区収集ごみ量は、各施策における区民の協力に加えて、プラスチックの資源回収を令和5年度から始めたこともあり、大幅に減少しています。
		マイボトル用給水機（公共施設設置分）利用による ペットボトル削減量（本/500ml）（累計）	171,900	228,453	293,250	438,267		900,000	設置施設は47か所（48台・本庁舎に2台）で、施設改修等で休館した施設があったものの、削減量は目安値を大幅に上回っています。
		★資源化率（%）	23.7	25.1	23.8	25.2		24.1	資源化率については、近年横ばいで推移してきましたが、令和5年度からプラスチック資源回収を始めたことにより、増加しています。
		事業系ごみ（持込ごみ）の排出量（t）	33,881	36,210	32,965	36,278		28,384	新型コロナウイルスの影響により、事業系ごみ排出者の活動が減少し、それに伴い排出量が大幅に減少しましたが、新型コロナウイルスの影響が緩和してきたことから、令和5年度以降は排出量が増加しています。
		可燃ごみの分別率（%）	77.7	76.8	78.0	-		79.5	2025年度は「廃棄物排出実態調査」を行っていないため実績値はありません。
		食品ロスの削減に取り組む区民の割合（%）	49.9	78.8	54.9	78.2		80.0	今後も、食品ロスの削減の推進のため普及啓発を継続していきます。
		「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに 保たれている」と思う区民の割合（%）	62.5	65.6	66.0	65.3		68.5	「共につくる地球にも人にもやさしいまち」に関する生活環境についての評価が最も満足度が高い結果となりました。

基本目標		指標項目	目安値（2024年度）	実績値（2024年度）	目安値（2025年度）	実績値（2025年度）	進捗状況（評価）	目標値（2030年度）	評価・分析
Ⅳ 快適環境	取組指標	★解体工事現場への立入検査によるアスベスト施工状況確認件数（件/年）	548	642	550	718		550	解体工事の件数増加に伴い、立入検査の件数も増加しました。
		VOC（揮発性有機化合物）排出事業場立入指導件数（件/年）	5	5	6	6		6	事業場に対して立入指導することで、VOC排出を抑える取り組みを進めることができています。
		ごみゼロウィークの開催回数（回/年）	7	7	7	8		8	実施日増により参加者も増えました。実施回数や時代のニーズにあった事業内容を検討を行い、事業を継続します。
		★路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの指導件数（件/年）	56,449	57,293	42,500	47,256		42,500	パトロール回数が減少したため、指導件数も減少しました。一方、苦情は増加傾向のため、効果的な手法を検討していきます。
		★路上喫煙・ポイ捨て禁止啓発路上シールの貼付数（枚/年）	175	133	179	100		200	既存のシールの視認性が良好に保たれており、張り替え等の更新需要が当初の想定を下回ったことが挙げられます。補修・更新の必要性を厳格に判断したことで、無駄な経費を抑え、適正な維持管理ができました。次期計画に向けて、適正な目標値の設定を行います。
		環境美化に関する活動への参加人数（人）	12,346	12,193	12,500	7,108		13,000	悪天候によりイベントが中止となったため参加者減。環境美化や清掃活動等に係る周知を強化し、参加者増を目指します。
	成果指標	★解体工事における大気汚染防止法の基準（アスベストに関する作業基準）適合割合（%）	85.0	84.0	86.0	81.0		90	基準不適合には、工事中の掲示義務やアスベスト調査結果の備え置き義務の違反件数が目立ちました。
		★事業場からのVOC（揮発性有機化合物）排出量（kg）	6,741	4,952	6,212	5,506		6,000	事業場からのVOC排出量は、溶剤変更等により徐々に減少しています。
		★路上喫煙率（%）	0.03	0.02	0.03	0.02		0.02	年々、路上喫煙率は低下しています。一方、公園内の喫煙の規制強化やインバウンドの増加等に伴い、路上喫煙者の増加が懸念されます。
		★「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合（%）	36.4	39.1	39.2	38.0		40.2	清掃・美化活動・啓発活動を引き続き継続していきます。

基本目標		指標項目	目安値（2024年度）	実績値（2024年度）	目安値（2025年度）	実績値（2025年度）	進捗状況（評価）	目標値（2030年度）	評価・分析
Ⅴ 共通目標	取組指標	区有施設の太陽光発電設置済数（累計）	27	28	28	30		30	令和7年度は、2施設（高南保育園と上池袋図書館）に設置しました。今後の課題は、修理及び改修・改築以外の施設への導入と考えています。
		★LED化された街路灯（基数）（累計）	8,146	7,760	9,010	8,268		13,334	地元調整など時間を必要とする案件があり、若干処理件数が目安値を下回りました。
		★再生可能エネルギー電力量の導入率（電力使用量）（%）	33.8	37.6	38.1	48.6		60.0	電気使用量の多い高圧電力を使用する施設を中心に再生可能エネルギー電力の利用を進めた結果、目標値を大幅に上回ることが出来ました。
		★多様な人に向けた環境に関する啓発講座等の参加者数（人/年）	1,404	1,204	1,416	1,932		1,480	多様な人に向けた環境に関する啓発講座等については、毎年3Rの推進啓発をテーマとした出前講座や食品ロス削減の啓発講座、デコ活のイベント等を開催しています。令和7年度は、エコライフフェアが過去最大規模の開催となり、来場者は前年比で約100名増加しました。
		★環境教育支援プログラムの参加校（校）	34	36	30	34		35	環境教育支援は、学校の授業に組み込むことによって学校側が取り組みやすく効果的な方法です。学校における環境教育に対する具体的支援となっており、教員に対しての環境教育に関する情報提供の場としても生かされています。令和7年度は多くの学校より希望があり、参加校が安定して推移しています。
		環境リーダーの数（累計）	353	362	358	382		382	生きもの学習や清掃活動といった様々な環境分野における活動を率いることができる人材として、多くの方が地域の中で活躍しており、着実に増加しています。
		家庭・事業所での優れた取組に対する表彰数（表彰数/年）	37	22	37	17		40	令和7年度は、環境美化活動と資源リサイクル運動の分野において15名・2団体の方を表彰しました。毎年町会等から推薦されており、表彰制度について広く周知されています。
		★事業者等の自主的な環境美化活動（としまクリーンサポーター登録団体数）（件）	171	174	173	201		180	令和7年度は29件の新規登録がありました。社会貢献活動を始めたい企業・団体の方が登録し、区内の清掃を積極的に取り組んでいます。
		環境に関する連携・協定数	25	27	26	33		30	「としま涼みどころ」など新たに5件追加となり、目安値を大幅に上回りました。
		自治体間連携カーボン・オフセット事業による森林整備面積（ha）（累計）	5.81	5.97	6.94	7.11		12.63	秩父市と箕輪町の「としまの森」において、間伐、除伐、作業道開設、植栽、植栽防護ネット設置などにより、1.14haの森林整備を行いました。令和7年度までの累計で7.11haの整備を実施しています。
	成果指標	★豊島区施設から排出される温室効果ガス排出量（t-CO_2）※出先機関含む	10,851	10,933	10,446	10,533		8,420	昼休み時の消灯など節電・省エネへの取り組みや再生可能エネルギー電力の導入等により、目安値には届きませんでしたが、概ね順調に減少しています。
		環境教育支援プログラム実施回数（累計）	95	95	147	140		407	「民間企業等による出前授業」に新たな企業に参加いただくなど、プログラム内容のブラッシュアップを図った結果、目安値に近い回数を実施することができました。
		★「環境に優しいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合（%）	84.3	75.8	86.8	74.6		89.4	令和7年度も様々な環境教育や啓発活動を実施しました。一方で環境アンケートでは、気候変動への適応策（植物を育てるなど）に取り組む際、作業負担を課題と答えた回答者が全体の55% を占めていました。これにより、目安値に到達できなかったと推測されます。
		「みんなで（地域や事業者等と連携して）環境保全に取り組んでいる、または取り組みたい」と考える区民の割合（%）	43.6	46.9	47.4	41.0		66.8	環境アンケートにおいて、環境保全に取り組んでいるもしくは今後取り組みたいかの問いについて、現在参加しておらず、今後も参加するつもりはないと回答する方が59.0.%でした。引き続き環境意識の啓発や講座などを行っていきます。
		自治体間連携カーボン・オフセット事業によるCO_2吸収量（t-CO_2）（累計）	63.6	64	75.7	71.6		136.1	埼玉県及び長野県の森林CO2吸収量認証を受け、令和7年度までに71.6t（複数年認証分含む）のCO_2削減につながりました。令和7年度は秩父市の整備面積が前年より狭くやや目安値を下回っていますが、概ね順調に推移しています。

★印…重点指標